

# 栄八通信

武雄市議会だより

Web版  
始めました

http://ei-8.info/

第54号

H 25年 1 4 ⑦ 10 月 発行



武雄市議会議員  
**宮本 栄八**  
TEL・FAX 23-0750  
携帯 090-5083-0793

## 市有地ネット販売 オークションではなかった!

今議会の目玉の一つは、市有地をインターネットで、全国的に公募し、売却を促進する案件。

ただ、新聞報道で、話題になったのは、市長が、土地鑑定の評価額では売れないので、一般市場に決

めてもらうとして、ヤフーオークションで、最低価格1円からでも売却

するとの発表があったから。私も、ヤフーオークションで、CD

などを購入したことがあるが、一定の期間があり、パソコン上で各々

金額を入れたり、商品の内容を問い合わせしたりして、1円から、せり

上っていくくみで、現在の最高値が表示されているので、その上を入

れ、期限内の最高値で落札する。ただ、今回、詳しく説明を聞くと

せり上げオークションではなく、入札方式で、基本これまでとあまり

変りはない。ヤフーオークションサイトには自治体が出した、土地などの不動産

のせり上げオークションコーナーもあるが、これは、税の滞納等の差

押えた土地等については、せり上げができる。しかし、一般の公有財産については、法律上できないとの話で、最初の市長の話からい

ただ、これまでと、大きく変わっているのは、普通は、予定価格などの目安となる参考価格が出された

たとえば、それが500万円とすれば、その約10%が入札保証金として5

万円を要する。今回それが、予定価格は無く、1円以上で、入札保証金は0円な

ので、ハードルは低く、だれでも気軽に参加できる。

ただ、毎年の固定資産税や不動産取得税は、売却額でなく、評価額に

対してかかるので、注意を。【議会の案件】この件を実施するに当り、議会の

案件となったのは、予算案で、ヤフーに払う、電子入札システム利用料、

75万6千円の支出。条例改正で、「武雄市財産の交換

と譲渡、無償貸付け等に関する条例」の一部に、定住促進のため一

般競争入札により、時価より低い(安い)価格で譲渡できる。と変えた

そこで、定住促進の具体的な利用方法をたずねたが、あまり明確な基準は示されていなかった。

【売却される土地】売却予定の土地は、武雄町の2ヶ所で、①赤尾(川良)②下西山い

## 土地開発公社の 清本跡地9億円の売却

全国的に、昭和40年代の高度経済成長期に土地の急激な値上りの中

で、公共用地を安いうちに先行取得する為に、全国的に設立され

た。公社と市とは別組織だが、自治体の全額出資で、しかも、役員

のほとんどは、市の部長が兼任し、以前は独自の職員も雇用していた

が、現在は、財政課職員が事務を行っている。

それは、近年の地価の下落によって、含み損が発生し、全国的に縮小や清算が進んでいる。

武雄市も近年、公社から土地を買

うることによって縮小しているが、市は、土地を売却価格ではなく、公

社に赤字を作らない為に、簿価で

購入する。その差額は市民が結局負担する形なので早期の処分を私

として提案して来た。特に、公社は、土地を銀行などから、借

金をして購入している為、地価下落の加え、長期に保有すれば、金利負担が大き

く、簿価の半分ぐらいを金利が占めている。ただ、近年は、金利を入札して

## 文化会館と 白岩体育館の 複合施設の実現性

今議会で新聞に取り上げられたのが、複合施設の話である。

文化会館と白岩体育館を耐震対応の為に、合

せて複合施設を作る。この市長の発言。ただ、集

会棟(小部屋が)つらなは残す様な話だが、具体的な説明がないので自分

なりに整理してみた。ただ、一般市民のとらえ方は、文化会館と体育館が合

されば、相当の駐車場も必要で、広い場所に

移転し、新築されるとの認識。一方、対震対応は昭和57年に基

## 文化会館と 白岩体育館の 複合施設の実現性

ちなみに、嬉野市では、屋根付きグラ

ンドのみゆきドームに続き塩田庁舎横に、「社会文化会館」を

約18億円を投じて来年度完成予定だが、そこが文化ホール500

席と体育館アリーナを併設する複合施設の身近な見本と思う。

ただ、武雄市の大ホール約1千席を作るには、も

っと多額費用が必要と思われる。ただ、市長は大ホールは、一

閑古鳥が鳴いている」と発言している

ので、大ホールは不用と考

えているのかもしれない。一方、現在の文化会館は維持管

理費が1億1千万円と図書館とほぼ同額が必要で、これもこの際

直す必要があると思われる。先立つ資金について、嬉野市では

国の社会資本整備交付金で40%補助を受け、残りを合併特例債

で賄う。武雄市では、屋根付きグラ

## 新特産品 パクチーの試験栽培

市は、レモングラスに続く特産品として、パクチーを試験栽培をする為の予算が計上された。金額は196万円と小規模で、職員旅費21万円に、種代10万円や肥料や資材等100万円を市県1/2の50万円を負担。

また、栽培は市の職員でなく、武友会という市内農業グループに栽培を125万円委託する。

このパクチーは、日本名「カメムシ草」の名のとおり、カメムシの様な青臭いにおいのある香草。

スーパー等ではあまり流通はないが、タイ料理トムヤンクンにも入られるなど、いわゆるエスニック料理では基本的な食材らしい。

セリ科の食物で、議員からは、外来種で野生化して広がる心配がないか?に対して、1年草なので毎



北方町でのパクチー栽培  
利点は、3ヶ月で出荷できること。

## 武雄保育所移転民営化と 特別保育のゆくえ

市立保育所の民営化を進める中で、武雄保育所をこれまで、公立で運営するとして来た理由は、特

別保育の充実の為だった。ただ、市長が、今回の武雄保育所の民営化への変更に当り、上野

議員の一般質問で、「特別保育の充実、民間では採算が合わず実施できないのでは」と指摘に対し、

人員の加配や費用負担を市がすることで、実現できるとの回答。私も、その答えを聞いて安心して

いたのだが、今回の民間委託先募集要項の中には、特別保育の条件

が示されていない。そこで、今6月議会、いっただい

うなっているのかとねると、特に、特別保育の実施は条件としてないが、現在武雄保育所の行っている特別保育はしてもらうとのこと

を果たすように聞こえる。ただ、今の武雄保育所は、民間保育所でも行なわれている、延長保育や障がい児保育に加えて、「一時保育型の休日保育」だけで、ほ

ぼ民間と同じ内容である。武雄市は、10年以上前から、病後児保育

○休日保育 ○夜間保育 ○一時保育 ○障がい児保育などの充実を目指していた。

ただ、それが、できなかったのが、武雄保育所の移転改築が進まず、

場所やスペース面の問題。今回改築時に、それらが一気に進むもの

と思ったが、現状での委託との事で、以前の市長の話とあまりにも違っ

ている。ただ、病後児保育は、嬉野等にたよらず、市内に設置する



# あの事業はどうなった？

## ①職員給料年俸制

昨年、新聞発表されて話題となつた、市税や国保などの徴収率アップなど職員が目標を定め、応募する形。しかし、今4月人事異動もあつたが、実施されていないので質問した。

それに市長は、9月には実施するとの発言で、どんな目標で、年俸がいくらになるのか注目したい。

## ②太陽光村の整備

市が参考として示したイラストでは、戸建て住宅が並び、奥に、地上設置型の太陽光パネルがあつて、その発電で住宅の電力をまかなつたり、電気自動車を共同利用する形の、住宅を分譲する計画。

市長は、用地など住民の協力が必要との発言で、買収が進まず実現できないのかと思つたが、まだ、大まかなプランさえできていない状況。ただ、学校パネル1kw135万円を設置する様な感覚では失敗するのではと心配する。

## ③温泉水の市街地配管

保養村の余剰の温泉水を、駅や温泉街に給湯し、足湯などの整備をする市が市長が明言し新聞報道も今議会、他議員が、市長にどう進めて行くのかの質問があつて、市長は、手のひらを返したように、「実施しない」との発言。

私は、やり方によつては実現の可能性もあると思つていたので、何故変つたかの理由を示して欲しい。

## ④学校給食職員の収入アップ

給食調理の民間委託を市が進めているが、その関係で、調理員の給料が最低賃金に近い状況。江北町の委託業者は、時給750円とチラシの募集広告で明確。

今年度、市も、調理員の給料を上げを期待して、委託料を上げた。他議員への答弁で意外なことが判つたが、それは、入札で受注した所だけでなく、業者が受けている全体から時給を決めているということ、それでは入札の意味がない。

# コンビニの証明書発行

## 市民サービスの向上を

近くのコンビニに行く、「証明書発行サービス」と表示してあつたので、びっくり。

しかし、チラシを見ると、武雄市ではなく、全国のシステム加入の自治体のもののみ。

その後、調べると、総務省の関係の(財)地方自治情報センターが全国コンビニと連携して実施を始めていて、九州内では、福岡市や大牟田市・薩摩川内市などあり、熊本県の益城町など人口の少ない所でも参加している。

具体的には、コンビニのマルチコピー機に住基カードを当て、操作すれば、年中朝6時30分～夜11時まで発行できる。大牟田市などは窓口発行より、経費が少ない。そんな住基サービスの上や、今でも、駐車場不足で市民に迷惑を



かけている事。また、今後、新庁舎建設時には、市民課の移動や、新幹線工事での更なる駐車場の縮小で混乱も考えられ、丁度、武雄市としては、グッドタイミングで、総務省のシステムが始まつたと思つた。

そこで、今回の一般質問で、市の証明書コンビニ発行への参加を提案した。答えは導入する費用もかかるのでと消極的な答え。

しかし、図書館の自動貸出し機も導入費用はかかっているわけでも、もう少し具体的な比較が必要。

# 西部広域ゴミ処理問題その4

## (リンゴやナシも必要)今後の注目は運転業者選定

建設事業費約16億円で、H27年9月の受入れ開始を予定する、有田・伊万里・杵藤地区合同でゴミ処理する西部広域環境センターの現在の状況をお知らせします。

前回は、焼却炉メーカーは、7社あるが、焼却方式を、シャフト炉(コークス等を先に燃した所にゴミを投入する、鉄製造の溶鉱炉の原理を応用したもの)に限定して入札したため、1社のみの入札になつた事までは伝えた。

西部組合のホームページに入札の選定評価等公表してあるが、業者名が「みかん」となつていてびっくり。おそらく、入札参加業者が1社のみだつたので、業社名をふせた仮名での審査の為と思つた。

やはり、私が思つたとおり、方式の限定で参加者が限定された状況。特に、シャフト炉メーカーは、新日鉄・住友金属と川崎エンジンの3社しかなく、近年、新日鉄と住友は会社が合併したので、2社しかない。私が、せめて、期待したのは、新日鉄住金のコークス方式と会社規模は小さい川崎エンジンの環境負荷の少ない天然ガス方式の選定比較がどう判断されるかだつたが、川崎エンジンは参加せず、新日鉄住金に決定した。

このシャフト炉は、たて型炉と言ふ意味で、上から投入するシンプルな構造で、本体自体の価格は、比較的安いとされている。

一方、問題は、15年とされる運転費用で、この方式、ゴミを投入する前に、コークスベッドと言つて、先に炉に燃料をたいて加熱する方式なので、その燃料代もこの円安が続けば、大きくなる。そこで、近年、処理方式にかかわらず、DBOと言つて炉本体と運転費込みの契約をする所が多く

なつているが、今回の西部組合の方では、分離されていて、今後、運転委託会社を募集する形となる。

以前、みやき町にある、住金系のシャフト炉の運転会社が、助燃材等の値上げで、委託料を値上げできないと、運転契約の更新をしない、新聞やテレビニュースでもあつて、結局、運転委託料の値上げで決着したと言ふ事もあり、今後の運転の業者や契約内容も結構重要な問題である。

一方、現在の工事は、進入路や、敷地造成中で、松浦バイパスから一部見える状況。施設の大まかなレイアウトは、前に駐車場↓処理施設↓後に最終処分場。

処理施設は焼却と粗大ゴミのみでリサイクル関係は各自自治体で対応。最終処分場だが、基本焼却灰は、ジャリのようにスラグ化して販売するので問題ないが、飛灰と言つてダイオキシン除去のバグフィルターなどにたまる微細な有害な灰をキレート処理と言つて薬品で固め流出しない型で埋め立てる必要があるが、当面、有田町の処分場に余裕があり、そちらを利用するので、西部の処分場は、穴は掘らず先に備えて平地を確保する程度。

一方、武雄市に直接関係するのが、大量に余っている工業用水を、この西部の処理施設に利用してもらうこと。市の水道部で以前より取り組んでいて期待していたが、結局、残念ながら、伊万里の水道水を使用することになつた。



伊万里市役所玄関のパネル

# 議員定数削減と市長の20%論の関係

## H18年合併時は定数30人で、前回のH22年に現在の26人に削減

H18年合併時は定数30人で、前回のH22年に現在の26人に削減。当時の行政問題審議会が、20人程度が適当との意見が出され、議会内でも数回話し合いが持たれた。結果20名と差はあるが、「段階的に削減する。」様な話しがあり、26名で決着したように思う。

今回、再度、市の区長会・婦人会・老人会の連名で、定数20へ削減の要望が出されている。

そこで、議員の全員協議会で、2回話し合いの場は持たれているが、発言は少なく集約する状況まで行っていない。

一方、今回はっきりとしたのが、前回のキーポイントと思つていた「段階的に削減」の方針は、話が出ていたが、それを正式に決定してはいないとの当時の状況の確認。しかし、当時、私の話した区長

さんは「段階的に減らす」と話だったので、26で納得した」と言つたので、互いに都合良く解釈したようだ。

また、以前は、20名とか23名とか大幅削減を言う議員もいたが今回はまだいない。それに、影響していると思われるのが、市長の、議員を減らす必要がない主旨の発言。

# 庁舎問題 3棟建てて?

3月に具体的な案を示すとしていたが、3月には何も出ず、今6月議会にも、まったくのつづきで、

それどころか、3月議会でも1棟建てと修正した本庁舎について、今回ツタヤ代官山店のように、低層で3棟建てで、通路でつながつていて、各棟にエレベーターを付ける」と、断片的な発言で、以前は用地不足とか、高層1棟建てが効率良いと言つていた話と全く矛盾!

毎回、議会と相談して進めるとの発言だが、議員全員で作る、「庁舎問題検討特別委員会」は、昨年の7月に①補強案と②東側に新築する案が示され、その後、約1年催されていない。現在の場所には変えないと市長が時々発言されているので、唯一、他の場所に移転建替だけは、無いと判断できる。

# 児童クラブ 6年生まで拡大問題

昨年、国の子育て3法が改正され、放課後児童クラブの10才までの制限がはずされ、これまでの3年生より拡大が可能となつてきた。

私は、有田の町議から、武雄市の対応をたずねられるまで知らなかった。そこで、反省もこめて6月議会でも、市のビジョンを問う。

市は、法の完全実施はH27年なので、それまでに対応するとの答え。ただ、国は県に、他の2法(待機児童解消・認定子ども園)は時間がかかるので、児童クラブの年齢拡大を先進させていて、県もH23年にガイドラインをもうけて推進していた。だから、児童クラブについては、H27年まで様子を見る必要もなく、補助金も同様にあるとのこと。嬉野市では、今4月より実施している。